

革新的技術で熱帯農産物を国産に 農業をサービス化する栽培パッケージ

農業法人株式会社 D&T ファーム (岡山県)



バナナの苗と栽培用の資材および栽培方法をパッケージで提供するサービス。独自開発技術により、強免疫で無農薬栽培が可能な苗の生産に成功。バナナの日本国内での栽培を実現させる。全国で25か所以上の熱帯作物農園が誕生している。最北は、北海道の釧路。「皮まで食べられるバナナ」としてブランド化を展開する。

受賞
ポイント

- ★ 独自開発技術「凍結解凍覚醒法」と竹炭培養技術を組み合わせることで、熱帯農産物を日本国内で、農薬を一切使わずに栽培することを可能とした。日本発の革新的技術である。
- ★ 単に苗を提供するだけでなく、「自分が食べたい、安心安全で美味しい作物を作り、消費者に届ける」という考え方に賛同し、3か月研修を受講した事業者だけに苗を販売し、栽培方法を指導している。
- ★ 現在は主にバナナで事業を展開しているが、熱帯作物だけでなく、穀物などにも応用可能と見込まれており、世界の食糧問題の解決への寄与が期待される。

事業内容

国産のバナナ苗を販売

2015年、植物の品種改良技術「凍結解凍覚醒法」の活用を目的としD & Tファームを設立。同技術を使用し栽培したバナナ(国産)と苗の販売を開始。苗販売と合わせて、自社で開発した資材の販売と栽培方法の指導をパッケージで提供する。栽培開始前の3か月間の研修を必須とする。研修時には、栽培方法だけでなく、ビジネスとして成り立つように指導している。

地元岡山で愛されるバナナを目指す

自社で栽培したバナナの販売は、まずは地元で愛されるバナナとなることを目指し、岡山で展開。地元百貨店で1本600円ほどの価格ながら、週に1,000本~2,000本売れるほどの人気。購買客の半数はリピーター。

サービス提供の背景・経緯

40年かけて研究し、技術を確立

おいしいバナナを食べたいという思いから熱帯植物栽培の研究に取り組む。40年かけて「凍結解凍覚醒法」を確立。その技術を用いた自宅庭での熱帯果樹の栽培が評判となり、果実や苗を御裾分けするようになる。

農業をサービス化する栽培パッケージを展開

大量に輸入されている熱帯農産物を国内で生産できれば、日本の農業を活性化するとともに、消費者に安心安全を提供できるという理念のもと、D & Tファームを設立。苗販売・資材供給・指導等からなる農業をサービス化する栽培パッケージの販売を開始する。

サービスの概要とその革新性

自社開発の品種改良技術

凍結解凍覚醒法は、植物の種子や細胞をマイナス60℃で凍結させ、植物本来が持つ耐寒性や成長速度を引き出す品種改良技術である。これに、同じく独自技術である竹炭を用いた強免疫苗(竹炭培養技術)を組み合わせることで、強免疫で無農薬栽培が可能な苗の生産に成功する。北緯30度(屋久島)が北限であったバナナ栽培の日本国内での栽培を実現。北海道でも生産されており、最北は北海道・釧路。

防除農薬や殺菌剤も使用しない無農薬栽培

既存のバナナ苗は細胞培養で作られ、その過程で抗生物質・抗菌剤を用いるため、免疫のない苗となる。このため、農地への植付後も農薬使用が必須となる。一方、竹炭培養技術は、植付後の防除農薬や殺菌剤が不要である。無農薬であり化学肥料不使用であるため、「皮まで食べられるバナナ」としてブランディング。大学との共同研究を通して、普通のバナナと比べて栄養価が高く、うまみが強いなどの特徴も検証済である。

サービスの成果・実績とその優越性

全国で熱帯作物農園が誕生

パッケージサービスの提供により、全国で25か所以上の熱帯作物農園が誕生している。見学や講演、研修への参加者は延べ5,000名超。海外メディアも注目。外務省の広報サイトWebJapanで日本の革新技術として世界に紹介される。海外でのテストマーケティングでは、味・農薬不使用・非遺伝子組み換え・有機栽培の点で評価が高い。国内を上回る価格での流通が十分可能との評価も得ている。

組織データ

組織名	農業法人株式会社 D&T ファーム	創立年	2015年
業種	農林水産	本社所在地	岡山県
URL	https://www.dt-farm.com/	従業員数	33名

サービスイノベーションとして優れている点

新たな日本の農業の可能性を提示

輸入農作物の国産化により日本農業の活性化を目指す点は、これまでの農業になかった視点である。苗や資材をパッケージで販売するが、地域ブランドとして育てていくことが重要と考え、フランチャイズ展開はしていない。生産者と消費者が近い地産地消の促進、新規就農や耕作放棄地をはじめとする農地の有効活用など、地域農業の好循環の実現が期待されている。

社会の発展への寄与

農業人材の育成

これまでにない農業であるとして、就職先としての人気も高い。農業高校や大学農学部卒業者の就職の受け皿として、これからの農業を担う人材の育成にも貢献している。

地域農業の活性化

耕作が放棄されたビニールハウスを積極的に再利用するなど、既存農業とも良好な関係を構築している。今後、岡山で大規模な農地で展開することを通じた更なる地域活性化を目指している。

世界的な食糧問題の解決への貢献

凍結解凍覚醒法は穀物の品種改良にも応用可能であり、食糧問題の解決、環境負荷の削減など、技術面から世界に貢献することが期待される。

■育苗中のバナナ苗

